

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2018年8月
コンサベーション・インターナショナル



Bushnell Camera Name 75°F23°C

02-12-2018 11:46:06

Tatay Leu の自動撮影カメラで撮影されたオスのサンバー ©CI

今期も環境省と協力してパトロールと違法行為の取り締まりを行い、中央カルダモン国立公園の管理をサポートしました。生物多様性研究や、コミュニティの支援も行いました。

パトロールと違法行為への対応

今期は、のべ54回のパトロールを実施しました。その結果、11本の丸太（約18.5立方メートルの木材）、フェンスの杭を100本載せた1台の車両、8台のチェーンソー、1丁の空気銃を没収し、18個のわなを撤去し、1匹のピグミースローロリスを救出し、4の違法伐採者のキャンプを破壊しました。違法な土地の開墾で4件、それ以外で1件を訴訟に持ち込みました。

中央カルダモン国立公園全体のマネージャー代理とステーションのマネージャーがモニタリングデータの集積・報告ツールである SMART データに関する 5 日間のトレーニングに参加しました。

複数あるステーションのマネージャー達が参加する毎月の定例会議と四半期ごとに開催される会議を Rolek のステーションで開催しました。会議では、過去の活動と課題を見直し、翌月の計画をたて、ステーション間の情報共有と調整をしました。



SMART データに関する 5 日間のトレーニング ©CI/Photo by Narin

生物多様性の調査

監視サイト

Tatay Leu 村の 9 つの監視サイトで、レンジャーやコミュニティの協力のもと、合計 16 台の自動撮影カメラからデータを収集しました。合計、15,896 枚の画像、31 個の動画が撮影されており、絶滅が危惧されているセンザンコウの動画を始め、多くの動物の画像が確認されました。



アジアゴールデンキャット (左)、ベンガルヤマネコ (右) ©CI

コミュニティの代替生計手段

アグロフォレストリー

アクイラリア（アガーウッド）の木 16 本に 2 回目の薬剤の摂取を行いました。乾季が明けた 12 月に収穫の予定です。



アクイラリアの木に 2 回目の薬剤接種 ©CI/Photo by Narin

Tatay Leu 村のある Tatay Leu コミュニティでの取り組みの検討のため、3 つの村の 4 箇所から土壌を採集し、プノンペンの研究所に送りました。結果は次期に出る予定です。



土壌採集の様子 ©CI/Photo by Narin

プノンペンの有機食品を扱うお店をコミュニティに紹介したところ、パパイヤ、トマト、人参、キャベツ、ドラゴンフルーツの仕入れに関心を示してくれました。27 家族が生産者グループとして登録され、今後栽培技術等についてトレーニングを受ける予定です。

非木材林産物 (NTFP)

ウコン（ターメリック）：インドの会社に地域で採れた数キロのウコンを送ったところ、品質に満足してもらえました。比較的大量に仕入れたいそうです。次の植え付け期が来る前に農家に改善点を伝え、販売を促進できるよう、雨季の間にウコンの乾燥方法を試す計画です。

レモングラス：雨が多いとレモングラスオイルの品質が下がるため、雨季の間はオイル生産を中止するよう生産者グループに指導しました。11月にまた再開する予定です。

養蜂：前回の報告時には実現性が高く、試行段階に進みたいと考えていた蜂蜜ですが、地元産ではない蜂を使う想定であったため、地域の生態系への長期的な影響への懸念がパートナーのNGOから指摘されました。環境省に意見を求めましたが回答はなく、断念することになりました。

エコツーリズム：7月の始め、オーストラリアの学生18人がTatay Leuを訪問し、地域の豊かな生物多様性に触れ、自然資源管理におけるコミュニティの役割について学びました。



コミュニティによる自然資源管理について学ぶオーストラリアの学生 ©CI/Photo by Narin

アジア開発銀行の支援を受け、エコツーリズムに使うマウンテンバイク、テント、双眼鏡といった基本的な道具を購入してコミュニティに提供する予定です。現在ある村のエコツーリズム委員会は、まだ政府（州エコツーリズム局と環境省）に正式に認められていません。この地域の管轄が森林局から環境省に移ったため、正式に認められるに当たっては、まず、コミュニティ森林委員をコミュニティ保全地域委員に変更し、コミュニティ保全地域委員の下にエコツーリズム委員会を位置づける必要があります。



エコツーリズムと回転型基金（リボルビング基金）の課題についての話し合い © Save Cambodia's Wildlife

政府の技術部門との関係：

前期に続き Koh Kong 州で行われた環境省の技術職員、Koh Kong 州の環境局、郡の知事、TatayLeu 村の代表が参加する会合で、Tatay Leu 村のに対して、州環境局からコミュニティ森林からコミュニティ保全地域への変更の必要性について説明がありました。



環境省技術職員等との会合の様子 © CI/Photo by Narin

先述の Tatay Leu コミュニティの土壌分析について、農林水産省の技術職員、Koh Kong 州の農業局と土地資源管理局と、Tatay Leu コミュニティが分析について理解を進めるための会合をもちました。



農林水産省技術職員等との会合の様子 ©CI/Photo by Narin

パートナーシップ

5月、世界銀行がカルダモン地域とトンレサップ湖を4日間視察し、地元当局、コミュニティ、旅行代理店等の民間、NGO等の関係者との会合をもちました。今後、世界銀行による案件形成に生かされることを期待しています。



生計向上支援活動を視察する世界銀行チーム ©CI/Photo by Narin

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。